



## シーナカリンウイロート大学歯学部と学術交流協定書に署名

2015年3月24日、ナロンサック歯学部長を団長とするシーナカリンウイロート大学歯学部一行が本学を訪問し、同日11時から吉澤学長、森山歯学部長とナロンサック歯学部長の間で、学術交流協定書及び学生交流協定書の署名式がMDタワー26階の特別会議室で行われました。ナロンサック歯学部長は、最初のタイからの歯学部留学生で日本語を交えながら、吉澤学長と話していました。一行は、署名式の後、大学の施設を視察しました。



協定書署名後の両大学関係者(左から森山歯学部長、吉澤学長、ナロンサック歯学部長)

### 3 大学共同研究発表会（3 大学コンソーシヤム）

2015年5月20日、21日とチュラロンコーン大歯学部において、本学歯学部、チュラロンコーン大学歯学部、北京大学歯学部の3大学コンソーシヤムによる研究発表会が行われました。本コンソーシヤムは2011年から行われていましたが、協定が失効し、改めて今年度より3年間のコンソーシヤムを行うことになりました。今年度はチュラロンコーン大学、来年度は北京大学、再来年度は、本学の順番で開催される。今回も3大学から多くの先生、大学院生が参加しました。



MOU署名後の3大学の歯学部長(左から郭歯学部長、スチット歯学部長、森山歯学部長)



MOU署名後の参加者一同

## アセアン・デンタル・フォーラム

2015年5月21日、22日にかけてチュラロンコーン大学歯学部75周年記念事業として、チュラロンコーン大学歯学部で、アセアン・デンタル・フォーラムが行われました。このフォーラムには、ブルネイを除くアセアン各国の署名な歯学部関係者が集まりました。参加者の中には、本学の協定大学の歯学部長や本学で行った東南アジアにおける医歯学教育研究拠点事業の国際会議の参加者やアセアン事務局の代表者が参加していました。会議の主なテーマは、共通のカリキュラム、コンペテンシーであり、EUの現状に関する報告の他、本学の田上順次理事による本学の「東南アジアの歯学教育標準化に向けた取り組み」に関する報告が行われました。席上からは、発表スライドをカメラに収める参加者がいました。



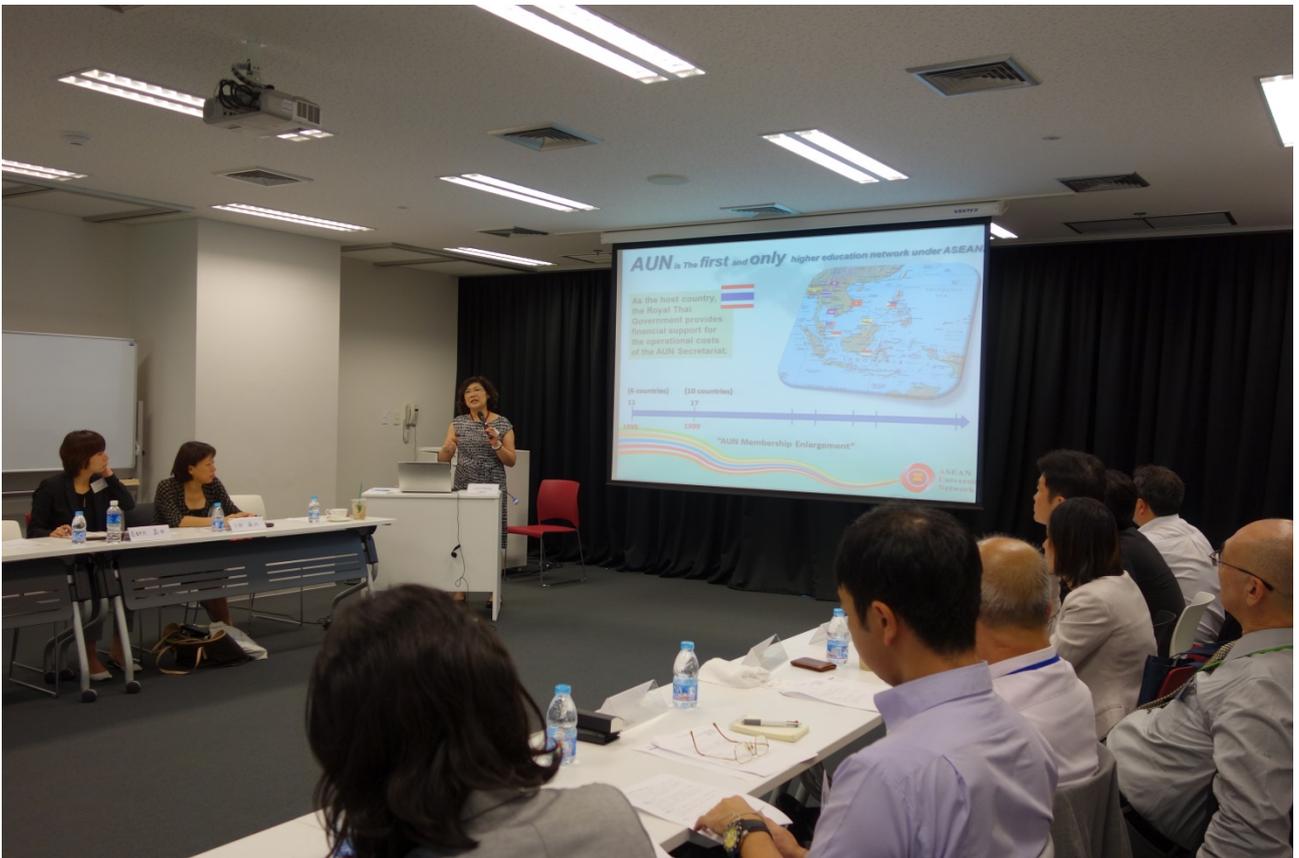
参加者による質疑応答



田上理事の講演

## 第2回在タイ大学連絡会

2015年3月9日14時から明治大学アセアン事務所にてタイに事務所を設置した35大学が集まって第2回在タイ連絡会が行われました。会場には、各大学のタイ並びにアセアン事務所の代表者の他に、日本学生支援機構、大使館の代表も参加しました。第1部は、アセアン大学ネットワークのナンタナ事務局長の講演、第2部は、各大学からの活動報告、それから大使館からの大学事務所の法人化の進捗について説明がありました。この事務所法人化については、最大の懸案事項であり、先のユラユット首相の訪日時、安倍首相からタイにおける日本の大学事務所の法人化への協力を求めたものです。法人化された場合は、公式に事務所の登記、銀行口座の開設、日本人スタッフの長期ビザの取得が可能になります。



第1部で講演するアセアン大学ネットワークのナンタナ事務局長

## 街角トーク イン バンコク

### タイのマクドナルド

タイのマクドナルドおじさんは、ワイ(合掌)をしています。ワイというのは、皆さんご存知のように、タイの挨拶で、写真のような合掌のことです。このワイは、通常、まず目下の人が目上の人に対して行います。これは、必ず返さなければいけません。筆者も最初はそのことがわからず、官庁に行った時に知り合いが講演中に目があったので、ワイをしました。相手は、話をやめて私にワイをしました。聞いていた人全員がこちらを見たので、恥ずかしい思いをしたことがあります。ですから、相手が何かしている時には、ワイをする必要はありません。会釈だけで構いません。ワイをすると、かえって相手に迷惑になります。



#### 拠点所在地

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11 floor Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University, Henri-  
Dunant Road, Bangkok, Thailand

#### 本学内事務局

第1号館西4階 国際交流センター 電話 03-5803-4962 E-mail [bkk.onoda.isc@tmd.ac.jp](mailto:bkk.onoda.isc@tmd.ac.jp)  
文責：小野田勝次